

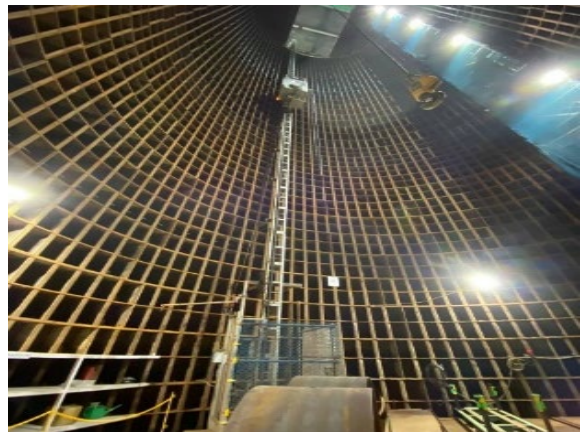
## 参考(下水道施設について)



水再生センターの外観



地下施設のイメージ(配管が設置)



縦穴内部のイメージ

下水道施設は、都民生活や企業活動を支える重要な施設であり、下水道局では東京23区内において、下水道管約1万6千km、水再生センター\*13か所を設置し、一日当たり約443万 $\text{m}^3$ の汚水をきれいにしています。

生活排水等を水再生センターへ導くための下水道管は、重力によって汚水を流す自然流下を採用しています。このため、場所によっては、地上から立坑(たてこう)という深い縦穴を掘り、シールド工法などにより下水道管を整備しているところもあります。

\*水再生センター:家庭やオフィス、工場などで使われて汚れた水(生活排水)をきれいによみがえらせるための施設(下水処理場)

## 【提供するフィールドについて】

- 今回の提供フィールドは、水再生センター内の維持管理用の通路を想定しており、生活排水が直接流れ込む環境ではありません。
- 水再生センター内の高さ5m×幅5m×長さ100m程度の地下施設(上記左下の写真を参照)を予定しており、地下施設内には、配管が設置され幅そうしている状況です。
- 出来形確認の対象は、建物の躯体の寸法を想定しています。
- 設置されている配管を、工事現場の支障物や人が通行する仮設用の通路と想定してください。